

科目名		電気工事実習Ⅰ			
担当教員		富樫 久夫		実務授業の有無	○
対象学科	電気電子工学科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	216
授業概要、目的、授業の進め方	前期に修得した単位作業、第二種電気工事士技能試験レベルの作業に加え、第一種電気工事士技能試験の課題および壁付け作業、そしてリレーシーケンスについて学ぶ				
学習目標 (到達目標)	第一種電気工事士技能試験に余裕で合格できるレベル				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①電気工事実技教科書 (雇用問題研究会) ②オリジナル資料 (PDF)				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	第一種電気工事士試験合格に向けて ・配電理論・高圧機器 ・配線図問題			テキストと問題集にて 筆記試験の過去問題をベースに苦手分野の克服	
2	技能試験の基本作業 (単位作業) ・ケーブルの加工 ・器具の接続			PDFファイルと動画にて 資料と動画の視聴のあと、実際に作業してみる	
3	技能試験の基本作業 (単位作業) ・端子台や遮断器等 ・ボックス作業と結線			PDFファイルと動画にて 資料と動画の視聴のあと、実際に作業してみる	
4	候補問題の分析と作成1			PDF資料にて 10の課題すべてについて、施工条件を読み合わせ複雑図を作図後に作成する	
5	候補問題の分析と作成2			各課題について留意点を出し合い、ブラッシュアップする	
6	壁付け作業			テキストPDF資料にて 電気工事の実際を体験する	
7	リレーシーケンス			テキストPDF資料にて DC24Vの実験ボードを利用して制御回路を作成し、同時に図面を作図する	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題	期末試験		安全第一 身だしなみと整理整頓を心掛ける PDF教材はiPadでの閲覧になります。	
10 %	50 %	40 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	電気・電子技術者として設計の現場に5年係わっていた 第一種電気工事士				